

技術士 1 次試験に合格して



八木 貴志

(やぎ たかし)

勤務先

株式会社 鈴木東建

〒063-0829 札幌市西区発寒 9 条 10 丁目 2 番
TEL 011-669-8100 FAX 011-669-2323
E-mail t-yagi@suzukitoken.jp

■ 専門：建設部門

1. 自己紹介

生まれは室蘭市で小学校まで過ごしました。中学からは釧路に引っ越し、中学卒業後釧路高専の建築科に入学しました。20 歳で卒業し、東京の建設会社で、橋梁上部工を専門としている皆栄建設工業に入社しました。そこで愛知や岐阜、鳥取県の現場を渡り歩き、26 歳で親がいる苫小牧に帰り、27 歳で苫小牧の自動車会社に入社し、12 年間工場のライン作業員として働いていました。多忙を極めた 12 年間で過ごした後、39 歳になり働き方を見直そうと、就職も決まらないまま同社を辞め、また建設業界に戻るべく就職活動をしました。運よく今の会社(株)鈴木東建に拾ってもらい、今に至っています。

今の会社では、地中送配電工事部という部署に所属し、地中の電力ケーブルを通すための管路を埋設する工事等の仕事をしています。主に札幌市内の、電線共同溝の管路やマンホール設置工事を担当することが多いです。

2. 受験のきっかけ

今の会社に入り、何の資格もなかったもので、とりあえず 2 級土木施工管理を取ろうと思い勉強を始めました。勉強して 2 日目くらいで、「全然余裕だ」と思い、1 級土木の受験資格を調べたところ、受験可能だと分かり、その年の令和 2 年に、同時に受験することにしました。運よく 2 つとも合格することに成功しました。高専卒業をして以来全く勉強なんてしてこず、39 歳になり勉強できるか不安でしたが、意外とできることに気づけた事は幸いでした。

その後、何かもう一つ資格を取ろうと思い立ち、どうせこの業界にいるなら最高峰の技術士試験(建

設部門)を受けようと考え、志しました。

3. 学習方法

とりあえず、ガチンコ技術士学園の教材を買い、過去問やテキストをやりこみました。過去問は 15 年くらい前から、専門、適性、基礎科目全部において、何往復したか分からないくらいやりこみました。平日は勉強しない派なので、土日は 1 日中勉強に励みました。

特に基礎科目はかなりてこずりました。正直難しかったです。

4. 受験体験

専門、適性、基礎全部難しく、試験が終わった後は、落ちていても不思議はないだろうなと思っていました。1 週間後解答が出て、自己解答したところ、何とか全部において 6 割当たっていてかなりほっとしました。落ちるつもりは、一つもないというくらい勉強したので、さすが技術士試験は施工管理とはレベルが違うなと思いました。

5. 今後の目標

今の会社は、技術士がおらず、士補も JABEE で取ったのが 2 名いるくらいです。1 次試験合格で、自力で取ったことはかなり評価されました。今年、令和 4 年度には、施工管理、施工計画及び積算の科目で 2 次試験受験を申し込みました。

2 次試験合格すれば 200 万貰える制度があり、かなりモチベーションは高いですが、正直今年は厳しそうです。来年度には絶対合格したいです。

最後に、日々の仕事や学習をするうえで自己研鑽を積み重ね、技術で社会や会社に貢献出来るような技術者になるべく、頑張りたいです。